

法医解剖症例における肺石綿の研究のお知らせ

帝京大学医学部では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：平成30年1月17日 ～ 平成34年3月31日

〔研究課題〕 法医解剖症例における肺石綿の研究

〔研究目的〕

法医解剖症例の肺石綿と胸膜プラーク、病歴、死因等との関係を検討します。

〔研究意義〕

胸膜プラークの法医解剖における頻度、肺石綿小体の量との関係、死因などとの関係を明らかにすることにより、無自覚の石綿暴露による健康被害の実態を明らかにする意義があります。

〔対象・研究方法〕

対象 帝京大学医学部において法医解剖を実施され、鑑定目的で臓器が保存されている方々です。

研究方法 帝京大学医学部法医学講座に保管されている肺で、石綿小体を定量し、石綿暴露を含む職歴、病歴、死因、年齢、性別、死後経過時間等との関係を検討します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部法医学講座

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報は匿名化して研究責任者が厳格に管理します。研究成果は個人の同定不可能な形で公表します。

対象となる可能性のある方々のご遺族様で、ご家族の臓器等の研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：帝京大学医学部法医学講座 野上 誠 主任教授

メールアドレス：mnogami@med.teikyo-u.ac.jp